

砺波総合病院
から

教育研修部
部長 絹谷 啓子

市立砺波総合病院
☎32-3320

病院のホームページもご覧ください。



臨床研修制度について

今回は、医師の臨床研修制度についてご紹介いたします。

臨床研修制度は、医師免許を取得した医師が2年間で専門領域に偏らない幅広い基本的な診療能力を修得し、医師として適切な態度・技術・人格を身につけることを目的とした制度です。

歯科医師にも同様の1年間の臨床研修制度があり、当院には内科・歯科こちらの臨床研修医も在籍しています。医科の臨床研修制度に關してもう少し詳しく説明しましょう。

医学生は、卒業後に臨床研修を行う病院を決めるため複数の病院を見学します。また、4週間単位の病院実習を複数の病院で行います。一方、病院では学生の見学、実習を受け入れ、県・大学・人材派遣会社が各々主催する病院説明会にて広報活動を行います。行きたい病院に順位をつける学生と採用したい学生に順位をつける病院との間でお見合い（マッチング制度）を行い、研修先病院を決定します。

臨床研修の募集定員は全国1,008の病院で約10,500名、マッチング登録者（学生）は約8,500名ですが、マッチングが成立するのは約

8,000名、さらに卒業試験・国家試験をクリアできない学生がいるため、最終的には約3,000名の空席が生じます。学生数に対して圧倒的に募集定員が多いため学生の売り手市場であり、大都会の病院に希望者が殺到して地方の医師不足を招いている事実があります。

富山県では101名の臨床研修の募集定員に対して、毎年平均54名のマッチングが決定しています。残念ながら、全国的には低いマッチング率（平成25年度：55名、38位）に留まっています。平成16年に開始したこの制度によって、全国的に医学生の卒業後の流動性が高くなりました。このような状況の中、富山県から若手医師を流出させず、他県から引き寄せるためには、大学や県内の病院・医療体制に新人の医師が大きな魅力を感じることが大前提となります。

市立砺波総合病院では病院全体で研修内容の向上と学生実習の充実、見学への丁寧な対応に取り組み、平成25年度には5名のマッチングが成立しまし

た。医師の育成は地方の医療の継続のためには欠くことの出来ない大切な事業です。多くの病院が医師の派遣を大学の医局に頼っている北陸地方の現状では、研修医の減少は大学への入局者の減少につながり、結果的に地方病院への派遣医師の減少につながっていきます。

研修医が在籍する病院は一般的に医療の質や安全性が高いと言われていきます。当院でも、患者さんに不利益が生じないように配慮している指導医の監督の下に、研修医は数多くのことを学び取ろうと日々努力しています。至らない点もあるかと思いますが、研修医と接する機会がありましたら、ぜひとも応援していただきますようお願いいたします。

